

(専門分野)

授業科目	精神障害のある対象の看護	講師	看護師	実務経験	単位数	
				○	1	
学習目標	1.診察・検査・治療を受ける対象に必要な看護を理解する。 2.障害を持ちながら生活する対象に必要な支援方法を理解する。				時間数	
					30	
					学年	
					2	
					時期 第1学期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師	
1	主な症状に対する看護	1.精神症状と看護 1)精神症状とは何か 2)様々な精神症状		講義	看護師	
2~3		3)統合失調症を持つ対象への看護 (1)健康段階各期における看護 (2)妄想・幻覚状態にある対象への看護		講義	看護師	
4~5		4)気分障害を持つ対象への看護 (1)健康段階各期におけるうつ病の看護 (2)抑うつ・躁状態にある対象への看護		講義	看護師	
6~7		5)不安障害・神経症性障害を持つ対象への看護 6)強迫性障害を持つ対象への看護 7)適応障害を持つ対象への看護 8)心的外傷後ストレス障害を持つ対象への看護 9)パーソナリティ障害を持つ対象への看護		講義	看護師	
8~9		10)アルコール、薬物、その他の依存症を持つ対象への看護 11)児童期・思春期の主な精神障害の看護 (1)精神発達遅滞 (2)自閉症 (3)アスペルガー症候群 (4)注意欠如・多動性障害(ADHD) (5)摂食障害		講義	看護師	
10		2.神経症状と看護 1)てんかんを持つ対象への看護 3.認知症の状態にある患者の看護		講義	看護師	
11~12		診察・検査および治療に伴う看護	1.診察に伴う看護 2.検査に伴う看護 3.薬物療法に伴う看護 4.電気けいれん療法を受ける患者の看護 5.精神療法を受ける患者の看護 (SST) 6.社会療法を受ける患者の看護		講義	看護師

13~14	精神科リハビリテーションの展開	<p>1.精神科リハビリテーションと地域精神保健</p> <p>1)精神障害と共に生きるとは</p> <p>2)精神科リハビリテーションの考え方</p> <p>3)在宅療養への調整と流れ</p> <p>4)チームによる連携</p> <p>2.地域におけるリハビリテーションサービス</p> <p>1)リハビリを継続するための場</p> <p>2)医療に関わるサービス</p> <p>3)日常生活活動を支えるサービス</p> <p>4)雇用・就労のためのサービス</p> <p>5)家族や当事者によるサービス</p> <p>(1)セルフヘルプグループ</p> <p>(2)家族会</p> <p>3.精神科リハビリテーションと今後の課題</p> <p>1)長期入院患者の地域移行への支援</p> <p>2)生活支援の課題</p> <p>3)地域での医療継続の課題</p>	講義	看護師
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 精神看護学[1] 精神看護の基礎 精神看護学[2] 精神看護の展開	